

## 第7次アイシン連結環境取組プラン(2025年目標)

GRI 103-2

「持続可能な環境を未来へ」、「自然と調和し誰もが安心して暮らせる社会」の構築をめざし、2021年度から2025年度までの環境行動指針・計画である「第7次アイシン連結環境取組プラン」を2020年に策定、2021年度よりスタートしております。この目標と取り組みに責任を持ち、着実に遂行、達成することで、持続可能な環境を未来につないでいきます。



## 脱炭素社会の構築

## 2050年ビジョン カーボンニュートラルの実現をめざす

取組分野	実施事項・目標										
① ライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 材料の調達から廃棄までのライフサイクルCO<sub>2</sub>削減に向けた基盤構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライチェーン全体を通じた削減の具体策設定</li> </ul> </li> </ul>										
② 製品設計におけるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品を通じたライフサイクルアセスメントによる排出削減               <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリーンエネルギー車(PHV、BEV、FCV)向け部品の開発</li> <li>● 高性能パワートレイン、軽量化等での低燃費化技術の開発</li> <li>● 次世代エネルギーシステム商品(燃料電池・バイオ燃料利用)の開発</li> </ul> </li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製品</td> <td>グローバル</td> <td>総量</td> <td>2013年度</td> <td>18%削減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	製品	グローバル	総量	2013年度	18%削減
対象	範囲	項目	基準年	目標							
製品	グローバル	総量	2013年度	18%削減							
③ 生産におけるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常改善活動のさらなる推進</li> <li>■ 工場新設・設備更新時における最新の省エネ技術の積極導入</li> <li>■ グローバルでの省エネノウハウの情報共有の仕組み構築</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産CO<sub>2</sub></td> <td>グローバル</td> <td>総量</td> <td>2013年度</td> <td>25%削減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	生産CO <sub>2</sub>	グローバル	総量	2013年度	25%削減
対象	範囲	項目	基準年	目標							
生産CO <sub>2</sub>	グローバル	総量	2013年度	25%削減							
④ 生産における再生可能エネルギー導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域特性に応じた再生可能エネルギーの積極活用</li> <li>■ 再エネ利用のグローバル展開ロードマップの作成</li> <li>■ モデル工場における再生可能エネルギーの活用</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生可能エネルギー</td> <td>グローバル</td> <td>導入率(電力比)</td> <td>2025年度15%以上</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	目標	再生可能エネルギー	グローバル	導入率(電力比)	2025年度15%以上		
対象	範囲	項目	目標								
再生可能エネルギー	グローバル	導入率(電力比)	2025年度15%以上								
⑤ 物流におけるCO <sub>2</sub> 排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ共同輸送のさらなる拡大による輸送効率化</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物流CO<sub>2</sub></td> <td>国内連結</td> <td>総量</td> <td>2018年度</td> <td>7%削減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	物流CO <sub>2</sub>	国内連結	総量	2018年度	7%削減
対象	範囲	項目	基準年	目標							
物流CO <sub>2</sub>	国内連結	総量	2018年度	7%削減							



## 循環型社会の構築

## 2050年ビジョン 資源効率性の最大化による環境影響の最小化をめざす

取組分野	実施事項・目標														
⑥ 資源効率向上に貢献する製品設計、製品・技術開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ リユース・リサイクルに配慮した環境配慮設計の推進</li> <li>■ 天然資源投入・廃棄物削減に貢献する製品・技術開発の推進</li> </ul>														
⑦ 生産における資源投入・廃棄物排出の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ全体での廃棄物削減(廃プラ有効利用・新技術導入・国内事例のグローバル展開等)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">廃棄物</td> <td>国内連結</td> <td>売上高当たり</td> <td>2013年度</td> <td>9%削減</td> </tr> <tr> <td>海外各社</td> <td>排出量</td> <td>2019年度</td> <td>実績以下</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	廃棄物	国内連結	売上高当たり	2013年度	9%削減	海外各社	排出量	2019年度	実績以下
対象	範囲	項目	基準年	目標											
廃棄物	国内連結	売上高当たり	2013年度	9%削減											
	海外各社	排出量	2019年度	実績以下											
⑧ 社会全体の資源循環システム構築等への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 天然資源投入・廃棄物削減に関する社外パートナーとの協働</li> <li>■ 物流梱包材使用量の低減               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 材質・仕様変更による軽量化・簡素化</li> <li>● 通箱・パレットのリユース</li> </ul> </li> </ul>														
⑨ 生産における水資源効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水資源投入削減の推進</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取水量</td> <td>グローバル</td> <td>売上当たり取水量</td> <td>2018年度</td> <td>2.1%削減</td> </tr> <tr> <td>高リスク拠点</td> <td>生産量当たり取水量</td> <td>2019年度</td> <td>12.5%削減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	取水量	グローバル	売上当たり取水量	2018年度	2.1%削減	高リスク拠点	生産量当たり取水量	2019年度	12.5%削減
対象	範囲	項目	基準年	目標											
取水量	グローバル	売上当たり取水量	2018年度	2.1%削減											
	高リスク拠点	生産量当たり取水量	2019年度	12.5%削減											
⑩ 地域の水資源保全等への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 工場周辺地域の水に関わる生物調査・清掃活動の継続・拡大</li> <li>■ 排水の自主基準(法令基準以上または地域要請水質)の順守継続</li> </ul>														
⑪ サプライヤーと協働した水資源環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水分野におけるサプライヤーとの協働の強化</li> </ul>														

第7次アイシン連結環境取組プラン(2025年目標)



自然共生社会の構築

2050年ビジョン 自然・地域生態系との調和のグローバル実現をめざす

取組分野	実施事項・目標										
12 生物多様性への 負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ポスト愛知目標に合わせた「アイシングループ生物多様性ガイドライン」改定</li> </ul>										
13 自社拠点におけ る生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生物多様性調査に基づく拠点別の生物多様性活動</li> <li>■ 「自然と共生する工場」の定義に基づいたモデル工場の整備</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然と共生する工場</td> <td>グローバル</td> <td>実現数</td> <td>—</td> <td>3拠点</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	自然と共生する工場	グローバル	実現数	—	3拠点
	対象	範囲	項目	基準年	目標						
自然と共生する工場	グローバル	実現数	—	3拠点							
14 地域の生物多様性の 保全・向上への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「自然と共生する工場」を活用した環境コミュニケーションの充実</li> </ul>										



全テーマ共通の基盤活動

2050年ビジョン 環境マネジメントシステムの高度化をめざす

取組分野	実施事項・目標
15 生産活動における 環境負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法規制・環境影響を先取りした化学物質の削減・管理強化</li> </ul>
16 グローバル連結環境 マネジメントの運用 および環境取組基盤 の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境コンプライアンスの順守徹底</li> <li>■ 情報通信技術による環境活動の高度化</li> <li>■ 環境事故を想定した訓練の継続</li> <li>■ 連結環境マネジメントのグローバル統合のための基礎づくり</li> <li>■ グローバル環境人材の育成強化</li> </ul>
17 サプライチェーンマネ ジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ環境ビジョン・目標のサプライヤーへの共有と環境取組推進支援</li> <li>■ サプライヤーの環境取組の情報収集体制の構築</li> <li>■ 新規サプライヤー候補の環境リスク評価・既存サプライヤーの監査実施</li> </ul>
18 環境コミュニケーション、 ステークホルダー エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ さまざまなステークホルダーに対応した環境コミュニケーションの維持・拡大</li> <li>■ 地域社会と連携した環境活動の展開</li> </ul>